

アーバン・ハウジング・フォーラム

平成 30 年度第 1 回開催報告

平成 30 年度第 1 回アーバンハウジングフォーラムを下記の要領で開催しました。

～「糸魚川市街地火災」について～

2016 年 12 月 22 日昼前後に発生した新潟県糸魚川市の大火は、翌日夕方の鎮火まで約 30 時間も続き、大きな被害をもたらしました。この大火の調査にかかわった国立研究開発法人建築研究所住宅・都市研究グループ主任研究員 岩見 達也様をお迎えし、糸魚川市大規模火災の被害概要及び被害拡大要因を明らかにするために実施した飛び火に関する実験や火災シミュレーションについて解説するとともに、強風下の火災危険性についてお話を伺いました。

記

テーマ：糸魚川市大規模火災に関する調査結果と強風下の火災危険性

講 師：国立研究開発法人建築研究所住宅・都市研究グループ

主任研究員 岩見 達也様

日 時：平成30年5月23日（水）15:00～17:00

場 所：協会会議室（参加者：15名）



ご講演は

- 1 糸魚川市大規模火災に関する調査・分析
 - ・糸魚川市大規模火災の概要
 - ・延焼状況・飛び火状況の分析
 - ・瓦屋根の火の粉に対する抵抗性の検証
 - ・シミュレーションを用いた延焼拡大要因の分析
 - ・まとめ（糸魚川市大規模火災）
- 2 強風下の火災危険性に関する分析
 - ・強風下の市街地火災・地震火災
 - ・分析方法
 - ・昭和 9 年(1934 年)函館大火
 - ・平成 7 年(1995 年)阪神・淡路大震災
- 3 まとめ

の内容で行われ、調査・分析結果を紹介いただきました。

講演の後、活発な質疑応答が行われ、有意義な時間を戴きました。

